

令和8年度 会計室 運営方針

I 基本目標

令和8年度は、「市民の実感」を最上位目標としてまとめた、「横浜市中期計画2026-2029」の初年度です。
市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら適正な会計業務の取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

会計室では、中期計画を踏まえ、適正な会計業務の取組を推進します。

適正な会計業務を着実に遂行するとともに、
会計経理を担う人材を育成し、区局の会計事務を
支えることで、横浜市政に対する市民・社会から
の信頼に応えます。

令和8年度 会計室 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策

1 会計業務の品質の維持・確保及び効率化の推進

- ・公金収納から公金管理、支払審査、決算調製にわたる会計・経理事務を適正・確実にを行います。
- ・デジタル技術の活用等による業務効率化や事務簡素化に取り組み、会計事務を改善します。
- ・これまで把握してきた課題を踏まえ、将来にわたって会計業務の品質を維持・確保するため、全体最適化を円滑に進めます。

2 市民・社会の要請や信頼に応えるための環境整備

- ・情報発信や相談対応を通じて、適正な会計事務が全庁において確実に行われるよう支援します。
- ・内部統制(Yモニ)やリスクマネジメントに取り組み、適正な業務執行を進めます。
- ・市民の利便性向上と、本市及び金融機関における事務の効率化の進展を踏まえ、デジタル化を推進します。

3 次世代を担う会計経理人材の育成

- ・会計経理を担う職員のスキルアップを図ります。
- ・研修を通じて、区局の会計経理実務を担う人材を育成します。

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

1 チームワーク・組織力の向上

- ・課を超えた業務応援・連携強化により、風通しの良い職場づくりを行います。
- ・職員が自発的に課題解決に取り組める風土を醸成し、会計室全体で業務を推進します。

2 働きやすい職場づくり

- ・お互いに協力し合い、助け合うことで、長時間勤務の是正と休暇を取りやすい環境づくりを進めます。
- ・すべての職員が、それぞれのライフステージに応じたワークライフバランスがとれる働きやすい職場をつくりまします。

3 会計室職員の育成

- ・知識やノウハウを継承し、高度な専門的知識が求められる会計室職員としてスキルアップを図ります。
- ・キャリア形成を前向きに考える育成に取り組みます。

Ⅳ 横浜グリーンエクスポの成功に向けた機運醸成の取組

指定金融機関や指定都市会計管理者会議等を通じて来場意欲の喚起に取り組みます。